

AJU麦の会&麦の里ニュース

第 127 号 令和4 (2022) 年 10 月 11 日発行

定価 100 円



発行所・東海身体障害者団体定期刊行物協会

中区丸の内三ー六ー四三

みこころセンター4F

定価一〇〇円

令和四年十月十一日(毎週火曜日発行)

AJU通巻 増刊第一四六七三号

昭和五十四年八月一日第三種郵便物承認

～7月9日(土)例会活動～

☆ (Aグループ)いろいろ競争

7月例会は、「いろいろ競争」。ある仲間が、ホームで電話が掛かると職員に渡すというのを楽しんでいて、「それをやりたい」と言ってくれました。さて、どのようにやろうか…これも競争にして、他にも競争できることを取り入れようと考え、企画しました。

「電話取りつぎ選手権」を軸にして、「ボール運び競争」「牛乳パック積み上げ競争」なども一緒にやることとなりました。いざ、始まるとどの仲間も我先にと走ったり、積み上げたりしました。「1番になる」と頑張っている仲間たちの姿は運動会みたいだと思えるものでした。

やりたいと言ってくれた仲間もそれぞれの競争を楽しむことができて、楽しい「競争」となりました。今度はこれに近いもので「運動会」もいいかなと思える活動となりました。

(むらまつ)

☆ (Bグループ)プール

午前中曇りでスタッフ3名、仲間4名の代表で水風船やプールに水を入れたり、イスを運んだり、準備をしてくれました。

午後からは30分早く開始し、水鉄砲、水風船、ビーチボール、滝、等の活動をしました。スタッフが去年の様に滝のイメージで箱の中に水をためて上から流すとすごい勢いで流れおちる為、仲間も大笑いしていました。

水まきのホースで仲間が水をスタッフにかけると大喜びしていました。

水風船で投げ合いっこしたり、ビーチボールで楽しく遊んだりしていました。

また、車椅子の仲間もプールに入ったりして、スタッフとのやりとりで楽しく活動できました。

その後、雷が鳴りだしたのでそこで終了し、部屋に入り着替えておやつにしましたがそこでまたやりたいと言う希望がありました。

(山口)

(療護グループ)プール

7月真夏のプール遊びを行いました！！

今年の夏も暑いぞってことで、日陰を確保するためにテントを用意しました。

プールも大中小と3種類！遊び道具も風船・水風船・カラフルボール・水鉄砲と準備万端で臨みました。しかし当日…いい天気には恵まれず…気持ち良い具合の…大雨！！笑

開催するか迷いましたがプールの水を変更すれば大丈夫だと判断し、『温水プール』に変更し開催しました。

大雨の中でしたがシャワーのように下から噴水してくるプールで遊んだり、みんなで水をかけあったりする事で、見えてくる楽しそうな仲間の表情は良いものですね(^^)♪

(北村)

～8月6日(土)例会活動～

☆ (Aグループ)流しそうめん&スイカ割り



8月例会、Aグループは、「流しそうめん&スイカ割り」ということで取り組みました。

流しそうめんは、割った竹にヤスリをかけてサランラップを巻いてやろうとしましたが、竹にサランラップを巻くとうまくそうめんが流れず…。そうめん自体をサランラップに巻きました。煮沸して冷やした水を流してみると、スーッと流れていき、衛生的にもこの方がいいということとなりました。仲間たちは、箸でうまく掴んでペロッと食べてと楽しむことができました。

その後はテラスに移動し、スイカ割り。タオルで目隠しをしましたが、みんなスイカに当てたくて、目隠しを少しずらして見ようとしていました(笑)。上手く叩けたときの仲間の表情、食べているときの仲間の表情がみんな笑顔で印象的でした。(むら)

☆(Bグループ)プール&かき氷大会

代打でリーダーになったイワンコフです。夏と言えば水遊び!!!

車椅子の仲間でも、水の中で遊びたい。目の見えない仲間でも、強度行動障害があろうとも、「水」って本当に楽しめるんですよ。ステキな企画を立ち上げたいと思って、「夏のBGMをかける」「滝を上から流す」「ホースを使って掛け合いっこをする」「水爆弾を投げ合う」もっともっともっと、やりたいことが頭の中で膨らんでいきます。結局とどのつまりは「思いっきり、楽しみたい!!!」です。コンセプトは「ドカンと夏を感じよう!」

せっかくなのだから全力でやりたいじゃないですか。仕事なんだし。でも、足りない道具もいっぱいあるので、たくさんの職員にご尽力を頂いて、プールは開催出来ました。この場を借りて、再度お礼を申し上げます。さらには、体調的にも優れない中で参加してくれた職員さんたちにも、本当に感謝です。

さて、活動の中身は・・・写真を見れば、仲間が楽しんでいる様子が伺えますね。でも、失礼ながらもっとやりたいのです。「深いプールに入りたい」「泳ぎたい」「浮き輪なんか使えないか?」なんなら、「海に行きたい!」「長嶋ジャポ海水プール」なんてどうだ!?

確かに、やることは手間があるし大変です。面倒が多いと思いますし、お金だっけかかるかもです。「これが」「あれが」「こうしないと」という事柄が、とてつもなく存在します。こっちの思惑と結局は違う結果になるかもしれないです。

仲間にとって必要なことをこなさないと、活動を実施することが出来ません。ですが、それが仕事だし、仲間にとっては大切な活動なんじゃないでしょうか?僕はやりたいです。活動を通して仲間の良い笑顔や世界を少しでも広げたいと思ってしまいます。なんだか、愚痴みたいな文章になっちゃいました



たが、これにて終わります。かき氷は、本当はB組さんだけでなく、麦のみんなに食べてほしいかったな・・・。

(イワンコフ)

☆(療護グループ)アイス作り

夏の恒例になりつつある、アイス作りをしました。アイスと決まったときに蘇ったのは、かたまりないアイスと戦った苦い記憶…前回の反省を踏まえ、今回は回数を分けて、少ない分量でリベンジ！！

仲間たちに事前にやることを伝えてあったからか、Sさん、Mさんは麦に来た時からやる気満々！材料を計量するときから、「まんま！」と♥の目で見つめて、作る前から口が開くほど。計量が終わると、みんなで輪になって、アイスのキャッチボール開始！！「OOさん、いくよー」と声をかけると、仲間はずる、来る、来る…”と身構えて、アイスをキャッチ！！かたまっしてほしいという職員の想いが込められすぎて…アイスがいつもよりも重い気がしました(笑)お気に入りの枕で遊ぶことが好きなCさん。今回もみんなが投げる中、そーっと枕の元に向かっていたので、枕の代わりにアイスを入れてみました。最初は持とうとしたものの、持ちにくかったのか、アイスにくるっと背を向け…枕みたいに持ち手があるといいかも！と持ち手のあるものに変えると、力強くぶんぶんと振ってくれました。みんなで力いっぱい投げたところで、出来をチェックすると、今回は成功！美味しそうにできました！

「完成!じゃあ食べよう！」と伝えると、作っている間は何をしても起きなかったGさんはむくっと起きて、一番いいところからの参加(笑)今回はバニラ味と牛乳味の2種類を用意して、どっちが美味しいかを食べ比べしました。久しぶりの冷たいアイスに目がぱちくりしていましたが、よく味わって食べていました。食べる順番を待っている仲間は、“早く!”と言わんばかりに、口がもごもご…食べられると、美味しかったようで満足気。ぺろりと完食し、もう終わりにしようという声かけには、不服そうな仲間たち(笑)名残惜しそうに次のアイスを見つめていたので、職員も仲間のあまりに熱い視線に負け、今日は特別と、いつもよりも多めに夏の味を満喫しました♥

(やな)



～七色の麦の日常風景～ 花火大会

夏休みが明けた8月15日に夏のイベント「花火大会&アイスクリームを食べよう」を行いました。

「花火いつやるの?」と楽しみにしてくれる人もいたようです。

まずは準備として8月3日に仲間を代表してUさんが花火とアイスクリームを買いに行ってくれました。「バリバリするやつ買う!」と楽し

そうでした。お店には沢山の花火やアイスクリームがありどれにしようかと相談しながら買いました。当初の予定では8月8日に行う予定でしたがお休みした仲間が何人もいたため延期することに。それを知らなかった仲間は「今日花火だね!」と楽しそうでしたが延期と聞いて残念そうな顔が忘れられません。

待ちに待った当日、会場はキャノピー。虫よけスプレーを済ませて早くキャノピーに行きたくてウズウズしているUさん。みんなそれぞれのテンポで会場へ向かいます。

火の当番はもちろんKさん。花火も慣れたものでやや上向きに持ってみんなに「火がきえちゃったよー」と知らせていました。花火がちょっと苦手なSさんも最初は見ただけでいいと言っていたけど誘うと来てくれて自分で花火を持って楽しんでいます。「花火きれいだね。バリバリしたね」とUさんは職員と笑顔でおしゃべりしています。他の仲間たちも眩しそうに花火を見つめています。当日発熱してしまったKさんも離れたところでしたが一緒に参加できました。

花火の後はアイスクリームタイム。今年の夏のイベントを決めるとき「アイスクリームが食べたい!」という意見もあったからです。花火でちょっと熱くなった体にクールダウンのアイスクリーム。美味しそうに食べる人や冷たくてなかなか飲み込めない人・・・いろいろでした。

今年は大きなハプニングもなく無事に終わりました。仲間の一人は去年のハプニングをしっかりと覚えていて笑いながら話してくれました。今となってはハプニングもよい思い出です。私は年に一度の花火を仲間と楽しめて良かったです。お楽しみイベントに参加することで季節を感じたり仲間との時間を共有してもらえたらいいなと思います。

(abono)



～森へと続く道～ ～ゼロへの好奇心～

両手の親指と人差し指を繋げて輪を作って空に向けた。
そこへ一匹の鳥が飛んできたので輪の中から眺めてみる
鳥はだんだん小さくなり、やがて消えてしまった。
魔法かと思って、私はとても驚いた。
それはとても暇で、平和で、至って平凡な、とある午後のこと。

輪を作らずに空をただ見上げたら。そこへ一匹の鳥が飛んできてやがて消えて居なくなっても、おお、鳥が飛んで行ったぞ、で済むだろう。

何が言いたいかって。

幼いころより私は0が好きだ。あんまり大好きで、+1になっても答えを出さずに回答拒否で周囲を当惑させた。ゼロに答えは無いのだ。時には怒り出した人も居た。

0の穴の向こうには何かがある。0のサークルを消したら、至って普通の空間が。でもサークルが出現すると、その向こう側の世界は何やら私にとって特別なものとなる。

ええ。最近では0の向こう側にはエロスとタナトスの間にあるもの、すなわち「永遠」があるのだという気がしている。

何も無い。ゼロの穴をくぐると永遠という騒がしい静けさにたどり着くのだ。多分。こうして私はたまに、指で輪を作ってその向こう側を覗いている。

(日比野)





仲間紹介

村上直哉さん

村上直哉さんは、2005年から麦の里通所開始。17年目になるベテランの仲間です。知的障害と自閉的傾向を持っていて、Aグループに所属しています。

来た時からずっとかわらないのは、その仕事ぶりです。指示された仕事を真面目に、ねばり強くやってくれます。その彼の良さが活かしている仕事が、炭作業の竹切り、不織布切り、そして廃品回収の作業です。職員の準備が間に合わなくなる時もあるくらいです。苦手とするのは、細かい作業で、職員の指示が多くなる作業です。職員の注意・口出しが多くなると、パニックにつながることもあります。というわけで、彼の得意な仕事を用意して、気持ちよく仕事に取り組んでもらえるようにするのが職員の主な仕事になります。

絵を描くのが好きで、独特のタッチの彼の絵を好きな人は多いです。クジャクの絵、ラクダの絵を得意としていましたが、最近は、ナガシマスパーランドの観覧車やジェットコースターの絵もよく描いています。小さい時から好きとの事。麦の里の職員とも何度も遊びにいったので、その時の事など思い出して描いているのかな?!力強い絵を描いてくれます。

2019年頃からホームの一員として暮らし始めています。里とは違った新しい姿を見せてくれていますが、その中でもっとも驚いたのは、トランプの神経衰弱が得意なことです。驚異の記憶力と、おそらく自閉的傾向からくる視覚記憶のよさで、大変に強いです。本人も好きらしく、他の仲間が「今日もトランプお願いします」と頼むと、気軽に「いいです」と応じてくれます。

普段から、なかなか「嫌だ^{いや}」と言うことができず、ストレスがたまることも多いようです。ホームの食事では、最近ようやく自分から「食べれん!!」と言ってくれるようになりました。もっと、彼の「嫌だ」を聞きたいと思っています。 (いな)

職員のつぶやき

麦の里に来て30年近い時間がたちました。こんなに長い事仕事をつづけても、なかなかうまく言えないことがあります。仲間たちの働く姿はとても感動的なのですが、なぜこんなに感動するのだろうか?なぜ、仲間たちと一緒に働けて良かったのか?という事です。

仲間たちは要領よく働きません。それでも、環境をととのえ、作業の工程を幾つにも細分化して、単純化することで、驚くほど仕事が出来ようになります。麦の里の仲間たちの働き方がそうです。

例えば自閉症のKさんも、視覚刺激に強い事、手先が器用な事から、見よう見まねでかなり細かい作業も器用にこなして、内職に取り組んでくれます。慣れた作業なら不器用な私にはマネできない程手早く完成させます。もちろん、その日の気持ちによって独り言が多くなったり、集中力が途切れて歩き回ることが増えたり…。一般企業のように「能率と効率」を仕事の評価の基準とすれば、とても「仕事を頑張っている」という評価にはならないかもしれません。けれども、2語文が喋れなくて、自分の好きな事以外の漢字がほとんど読めない彼女が、内職を次々に完成させる様は、あっぱれです。

例えば重度重複障害のSさん。ボカシの検品。シーラーをしたボカシの袋をテーブルから床の箱へ落とす作業。麻痺で物を掴めない手を使って作業を繰り返す中で、少しずつ可動域が広がり、動きが滑らかになってきています。

【こんなに重い障害だから、たったこれだけしかできない】と思うのではなく、【こんなに重い麻痺なのに、出来る仕事があるんだね】と思い、その仕事を毎日続けられるようにサポートをしてきました。彼らのそんな働く姿が、何よりも愛おしいことに思えて、ここまで働いてきました。彼らと「共に働く」ことが、私のこの仕事の源泉だと思っています。

働くことの価値が、結局、稼いだお金の額でしか計られない、「能率と効率」偏重の現代社会の中では、ほとんど真逆の価値観で、ある意味静かな挑戦かもしれません。

何よりも彼ら自身が、「毎日頑張ろう」「今日も働こう」と自ら思えるように、支える関係を築いていく事は、それほどキレイごとでも、たやすいことでもありません。むしろ、顔で笑って心でじーっとガマンする事の方が多いです。だからこそ、山のように「発達」を学んでもきました。

それでも、とにかく、彼らのサポートを続けたいと、私自身が自ら「働きたい」と思ってこれれたのは、彼らが自ら「はたらく姿と笑顔」のお陰だと思っています。

TW



☆ お楽しみコーナー ☆

★クロスワードパズル

1	C		11	■	6
		■	5	D	7
2		10	■		■
■	3		9		8
4	B			■	A

タテのヒント

1. 黄色や赤色に変わる木や葉を何と言う？
6. 三重県の県庁所在地は？
7. 枝を落とした、丸い木材を何と言う？
8. 弱い力で重い物を動かす力のこと。「○○の原理」。○○に入る言葉は？
9. 年齢をごまかす事。「◇◇を読む」。◇◇に入る言葉は？
10. 酒のつまみになる食べ物を「酒の★★★」という。★★★に入る言葉は？
11. 「消し■■」「天■■」「そば■■」。■■に入る言葉は？

ヨコのヒント

1. 漢字で「最中」と書く、和菓子は？
2. 日本と海外における、時間の差のことを何という？
3. 建物の入り口にある、雨の日にカサを置く所を何という？
4. 子どもが山やトンネルを作って遊ぶ、公園にある遊び場を何という？
5. だし汁にしょう油と塩で味をつけた澄んだ椀物を、「△△△汁」と言う。△△△に入る言葉は？

☆キーワード☆

A~Dをつなげてみてね！

A

B

C

D

お礼のコーナー （敬称略 順不同）

◆◆麦の会の会員・賛助会員の更新をして頂いた方 ◆◆

会員更新：加藤進一郎

賛助会員新規：浜口 大

賛助会員更新：協和コーポレーション (有)小島商会 スズリョーベルックス(株) 伊藤光枝
 稲垣渥子 岩田葉子 梅田尚美 奥平待子 小川美登代 加藤規江 加藤瑤子 金田昌博
 木全考次・久美 熊谷敦子 近藤直子 坂本優子 志津明美 鈴木まもり 神野秀幸 園田景子
 寺島裕子 野知里紀子 野村龍彦 橋口年子 阪野延子 平松修 増山峰生 松尾英夫 三宅
 訓子 村上雅康 雪野哲哉 横山文代 匿名希望4名 (次頁へ続く)

お礼のコーナー

〈前頁の続き〉

◆◆ 社会福祉法人麦 及び 麦の里へ 寄付金&物品を頂いた方 ◆◆

匿名希望の方 数名

—お詫びとお断り— かわらぬご支援をありがとうございます。

9月15日までにいただいたものを集計しております。掲載もれがないようにチェックしておりますが、もしもお名前がもれている場合にはお知らせ下さい。

今後の予定

10月

- 8日(土) 麦の会定例会
／麦の里の仲間は1日活動
- 17日(月) 床屋デー / 訪問歯科
- 25日(火) 北山廃品
- 29日(土) 麦の会役員会

11月

- 5日(土) 成人を祝う会(麦の里1日活動)
- 10日(木) 法人理事会
- 26日(土) 麦の会役員会
- 29日(火) 北山廃品

◇クロスワードの答え 「コスモス」 ◆

編・集・後・記

今月の機関紙は例会でやった
楽しい活動がメインです！
もっと写真を載せたかったのですが
なかなかページの割り振りができず、
力不足だなあと思いながら編集しました。
(たら)

グループホーム職員 &運転手 大募集!!

未経験者、無資格者でも
OKです。ご興味がある方は
麦の里まで、ご連絡下さい！

◎◎運転手◎◎

平日 月～金曜日(月1回土曜有り)
朝:7時～9時20分/夕:16時～18時
(どちらかだけでもかまいません。)

◎◎ホーム職員◎◎

夜勤:16時～10時/早番:7時～10時
遅番:16時～21時30分

(時間は相談に応じます。)

♥仲間たちの居場所づくりに、
ぜひ参加して下さい。

障害者とともに歩む 麦の会
生活介護事業 麦の里
共同生活援助事業 七色の麦

〒480-1214 愛知県瀬戸市上品野町1354-12
電話(0561)41-4124/FAX(0561)41-3766
ホームページ: <https://www.mugisato.or.jp/>
Mail : nakamanowa@mugisato.or.jp